

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)北大阪トラックターミナル II 期棟	階数	地上6F、地下0F
建設地	大阪府茨木市宮島	構造	RC造
用途地域	準工業地域、準防火地域、第五種高度地区	平均居住人員	2,000 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,080 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年3月 予定	評価の実施日	2026年2月13日
敷地面積	49,256 m ²	作成者	河西孝平
建築面積	31,669 m ²	確認日	2026年2月13日
延床面積	183,383 m ²	確認者	牧野雅一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 1.9 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★	標準計算 30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★ ① 参照値 ② 建築物の取組み ③ 上記+②以外の ④ 上記+ このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質 Q のスコア = 3.0		
Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.9	Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.3	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.8
LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.9		
LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.2	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.7	LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.8

3 設計上の配慮事項		
総合 茨木市のトラックターミナル敷地内に建設される倉庫の計画である。既存樹木を保存し、道路境界線沿いに植栽を配置することで、生物資源の保存と良好な景観の形成に配慮している。また、節水機器やリサイクル材の採用、高効率設備による省エネ性能の向上で、地球環境に配慮している。		
Q1 室内環境 床、天井の二面に吸音材を採用し、照明は1作業単位でリモコン制御できるなど、室内の作業環境に配慮している。	Q2 サービス性能 免震装置を採用することにより、内部設備の保護を図っている。また、更新間隔の長い内装材や配管材料を採用することで、耐久性にも配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 既存樹木を保存し、道路境界線沿いに植栽を配置することで、生物資源の保存と良好な景観の形成に配慮している。
LR1 エネルギー 高効率な設備機器を採用することで、省エネルギーに配慮している。	LR2 資源・マテリアル 節水器具の採用やリサイクル材、ユニット部材の採用で資源の保護に配慮している。また、PRT法に該当しない建材の採用、ノンフロン断熱材を採用することで、環境影響を及ぼす材料の使用削減に配慮している。	LR3 敷地外環境 燃焼機器は使用せず、大気汚染防止に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2018年版

受付番号 R7-変-0034

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存 2024V1.4

【建物概要】 建物名称		(仮称)北大阪トラックターミナル II期棟							
建設地		大阪府茨木市宮島							
用途／区分		工場							
【評価結果】	CASBEE 総合評価							A	
①	CO2削減							5	
②	みどり・ヒート アイランド対策							2	
③	断熱性能							評価対象外	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外						評価対象外
④	エネルギー消費性能							5	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分 非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分	評価対象外 						評価対象外 6
⑤	自然エネルギー直接利用							—	
	再生可能エネルギー	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—		—
	利用施設の導入状況	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—
	エネルギー消費量の報告							報告しない	

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮	4.8	5
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出	2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3. 2 敷地内温熱環境の向上	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環 2. 2 温熱環境悪化の改善	3.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制		
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他		
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項		